



# アバター

ウェイ・オブ・ウォーター

12.16 fri  
ONLY IN CINEMAS

20THCENTURYSTUDIOS.JP/MOVIES/AVATAR2  
配給:ウォルト・ディズニー・ジャパン

世界歴代No.1を、体験せよ



# アバター

ジェームズ・キャメロン 3D リマスター

20TH CENTURY STUDIOS PRESENTS A JAMES CAMERON FILM "AVATAR" SAM WORTHINGTON ZOE SALDANA STEPHEN LANG MICHELLE RODRIGUEZ AND SIBOURNEY WEAVER COSTUME DESIGNER MARGERY SIMKIN MUSIC BY JAMES HORNOR VISUAL EFFECTS BY WETA DIGITAL  
EXECUTIVE PRODUCERS JOE LETTER PRODUCED BY WETA WORKSHOP DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY STEPHEN RIVKIN, A.C.E. EDITOR JOHN RIFKIN, A.C.E. EXECUTIVE PRODUCERS RICK CARTER ROBERT STROMBERG  
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY MAURO FIORE, A.S.C. EXECUTIVE PRODUCERS COLIN WILSON LAETA KALOGRIDIS  
PRODUCED BY JAMES CAMERON JON LANDAU WRITTEN BY JAMES CAMERON  
DISTRIBUTED BY WALT DISNEY PICTURES  
© 2022 20th Century Studios  
配給:ウォルト・ディズニー・ジャパン

9/23(金・祝)~2週間限定公開

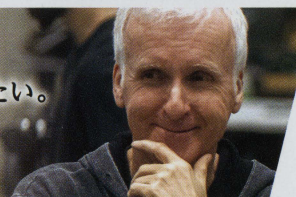


人類史上最高の映画シリーズ、誕生

# それは、「観る」を超えた映像体験

映画館の大スクリーンで映像作品を楽しみたいと思う我々は、時代遅れの恐竜なのだろうか。  
私はこの作品で、子供の時に体験した湧き上がる興奮をもう一度、観客に思い出させたい。

JAMES CAMERON  
——ジェームズ・キャメロン



観るのではない。  
そこにいるのだ。

『アベンジャーズ/エンドゲーム』を超える  
全世界歴代興行収入第1位の座に今なお君臨する絶対王者が、  
驚異の進化を遂げて大スクリーンに帰ってくる。  
奇跡の4K HDR映像によるリアルを超えた3D体験が、  
新たなアバター伝説の幕開けを告げる。

地球から遠く離れた神秘的星パンドラ——人類は、“ナヴィ”と呼ばれる  
この星の種族のDNAと組み合わせた肉体(アバター)を操作員の意識で操り、  
希少鉱物を採掘するための交渉をナヴィとしていた。  
この計画に参加した元海兵隊員のジェイクは、  
アバターとしてナヴィたちと接するうちに彼らの生き方に惹かれていく。  
パンドラを脅かす人類の計画を知った彼は、  
運命を決する選択を強いられることに…。



## アバター

ジェームズ・キャメロン 3D リマスター

9月23日(金・祝)~2週間限定公開

3D/DOLBY CINEMA/IMAX 他

監督・製作・脚本:ジェームズ・キャメロン 製作:ジョン・ランドー 出演:サム・ワーシントン/ゾーイ・サルダナ/シガーニー・ウィーバー  
配給:ウォルト・ディズニー・ジャパン © 2022 20th Century Studios. All Rights Reserved.

映画の最新情報はこちら!

## 監督ジェームズ・キャメロン 歴史を変え続けた“映画の神様”が、新たな伝説を作るとき

映画の長い歴史を振り返っても、これほどの偉業をなしとげた監督はいないだろう。その名は、ジェームズ・キャメロン。いかにして彼は“映画の神様”と言える存在になったのか? まず驚くのは、その実績。全世界の歴代興行収入ランキングの第1位に君臨するのが『アバター』で、第3位が『タイタニック』。トップ3のうち、なんと2本がキャメロンの監督作品なのである。『タイタニック』はアカデミー賞®で作品賞・監督賞など合計11部門を受賞。これは『ベン・ハー』『ロード・オブ・ザ・リング/王の帰還』と並ぶ史上最多記録。エンターテインメントとして、そして芸術として最高のクオリティを達成する。映画に求められる両面で、キャメロンは神レベルの成果を成し遂げているのだ。そしてジェームズ・キャメロンが“神様”である、もうひとつの理由。それは映画製作における異様な

決して恵まれた境遇とはいえない環境で、昔ながらの技術とわずかな予算でも作れる、そんな道を指し示した彼は、孤高の高みへと昇り続けている。どこがゴールなのか誰にもイメージできない蒼穹の果て。そこは、いつも深いブルーの世界なのだ。

——樋口真嗣 (映画監督)

リアルなだけでは新たな世界を創る意味はない。実在しない世界に人を“没入”させるためのディテールへの妥協なき徹底した配慮と、それを実現させる超人的な情熱。彼の映画にはそれがある。

——小島秀夫 (ゲームクリエイター)

までのこだわりと、革命的テクノロジーへの飽くなきチャレンジ精神だ。『ターミネーター2』での液体金属と化するキャラクターなど、過去のどんな作品でも観たことのない映像を次々と創り出し、その到達点が構想14年と言われる『アバター』。神秘的星パンドラに暮らすナヴィの世界観のために、彼らの言語をすべて一から創造してしまう。ナヴィは、俳優の目の動きまでキャプチャーする前代未聞の技術で映像化。さらに3Dのカメラシステムを独自に開発……と、一本の映画のために、これほどまでに注がれた情熱に、誰もが畏怖と尊敬をおぼえるしかない。そんなキャメロンがこよなく愛するのが“海”。スキューバダイバーとしても知られる彼が、世紀の一作『アバター』を海の世界で展開させる新作で壮大なシリーズを再始動ということで、“映画の神様”の進化、まだ止まらない!

前作の第一報が届いたときは、今回ばかりはヒトは無理でしょうと思っていました。そしてキャメロン監督はそれをあざ笑うがごとく遙か高みを軽々と超えて新記録を作っていました。今作がどんな社会現象を起こすのか、本当に楽しみです。

——山崎貴 (映画監督)

いま観ても、すごいに決まっている。映像技術において『アバター』を超える映画はない。

——押井守 (映画監督)

## 奪われるのは、目か、心か。

映像界の常識を一変させた革命的超大作『アバター』が、人類史上最高の映画シリーズとして新たな奇跡を巻き起こす。映画館だけが可能にする圧倒的没入感——この冬、「観る」の先にある“超現実”映像体験が全世界を席巻する。

舞台は、海へ——元海兵隊員のジェイクは、神秘的星パンドラの一員となり、ナヴィの女性ネイティリと結ばれる。二人は家族を築き、子供たちと平和に暮らしていた——再び人類がパンドラに現れるまでは…。神聖な森を追われたジェイクの家族は、未知なる“海の部族”の元へ身を寄せる。だが、この美しい海辺の楽園にも、侵略の手は迫っていた…。

## アバター

ウェイ・オブ・ウォーター

12月16日(金)公開

2D/3D/DOLBY CINEMA/IMAX 他

監督・製作・脚本:ジェームズ・キャメロン 製作:ジョン・ランドー 出演:サム・ワーシントン/ゾーイ・サルダナ/シガーニー・ウィーバー/ケイト・ウィンスレット  
配給:ウォルト・ディズニー・ジャパン © 2022 20th Century Studios. All Rights Reserved.

20thCenturyStudios.jp/movies/avatar2 映画の最新情報はこちら!▶▶

<順不同・敬称略>

